



## 2. 指標設定

成果指標	指標名	立地企業数		H27	指標の設定理由				
	数値	4件			総合計画／後期基本計画において、基本施策(4-2-3)の目標値としているため				
活動指標	指標	a	企業訪問	b	工場適地の確保	c		d	
	数値	目標	20回	目標	1ヶ所	目標		目標	

## 3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H20	H21	H22
立地企業数	件	-	1 件	2 件
		-	25.0 %	50.0 %

活動指標名	単位	H20	H21	H22
a 企業訪問	件	24 件	20 件	22 件
		120.0 %	100.0 %	110.0 %
b 工場適地の確保		-	-	-
		-	-	-
c				
d				

## 4. 課題と対応

課題
受け入れる工場団地が未確定であり、また空き工場への進出が停滞している
対応（改善点等）
工場適地の調査実施、情報提供のあり方、企業立地促進条例の見直しなどを検討する

## 5. 事業費・・・H20～H22（決算額）、H23（予算現額）

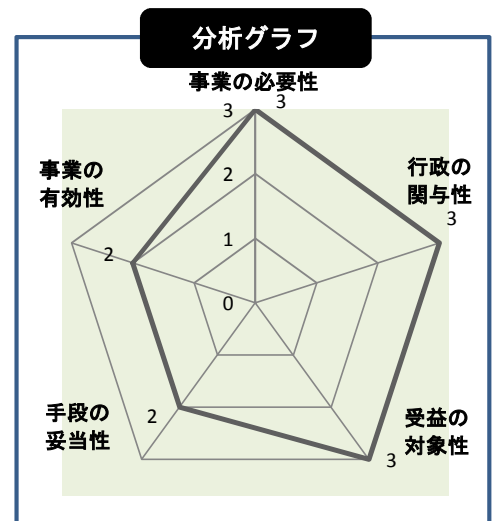
決算額（千円）		H20	H21	H22	H23
		2,376	5,684	233	691
うち経常経費		2,376	5,684	233	691
財源内訳	国費				
	県費		12		30
	市債				
	その他	4	4	4	4
	一般財源	2,372	5,668	229	657
うち経常		2,372	5,668	229	657
事業費に係る人件費		467	469	482	473

## 6. H24年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
空き工場等の利活用を促す情報提供を行う

## 7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 実現すれば事業効果も高く、県とも連携して取り組んでいる
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 条件整備等の必要性が高く、行政の関与が必要
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 実現すれば地域の雇用、定住、財政面等にメリットがあり、広く地域に影響力がある
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	2 工場適地の確保等、手段の検討余地がある
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	2 空き工場の情報提供等により、近年、進出事例があったが、依然厳しい状況である



## 8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	厳しい状況下であるが実現に向け努力すること